

知多市更生保護女性会発行 令和6年7月 発行 第35号

知多更女だより



「非行を生まない地域づくりに向けて」

知多市長 宮島 壽男



知多市更生保護女性会の皆様におかれましては、日頃から犯罪のない明るい社会づくりや、青少年の非行防止・健全育成等、幅広い活動を通して地域福祉の向上並びに市政各般にわたり多大なるお力添えを賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

社会を明るくする運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場から力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする運動です。犯罪や非行を犯した人たちの中には、地域社会で生活する上で様々な困難を抱えている場合が少なくなく、こうした方々の心に寄り添い、地域に根差した取組の一層の充実が期待されております。

知多市では、今年度も7月の強調月間に合わせて、啓発活動を行う予定でございますので、引き続きご参加いただきますようお願いいたします。

また、今年度は、保護司会と協働した県内視察研修の実施や各地区でのミニ集会の開催を予定していると伺っております。

今後も、引き続き保護司会を始めとした他機関との協働を図っていただくとともに、皆様のあたたかく大きな心で、犯罪や非行から立ち直ろうとする人たちを支えていただき、心豊かに生きられる明るい社会、非行を生まない地域づくりに向けてご協力いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、知多市更生保護女性会様の今後益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

「知多市更生保護女性会の皆様へ」

西知多保護区保護司会知多支部 会長 村上 吉徳



知多市更生保護女性会（以下、知多更女といいます）の皆様、日頃から更生保護にご尽力いただき深く感謝申し上げます。私たち保護司も、社会の安全と秩序を守るため、更生を目指す人々の支援に努めています。最も大きな目的である再犯防止という重要な使命の下、対象者一人ひとりに寄り添い、地域社会の中で再び活躍できる希望の光を提供することが私たちの責務です。今後とも更生保護活動の一員として皆様と共に歩んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、従来は協力雇用主会と連携した活動を行っていたのですが、昨年に知多更女の皆様と協議を行い、同じ更生保護活動を行う者として力を合わせるにより、より効果的な活動が可能ではないかと模索を始めたところです。本年は、知多更女の役員の皆様と保護司会の協力組織部会が、共催可能な事業を計画する予定です。これらの活動により、両会の活動がより活発となり、充実した更生保護活動が実施されることを期待しております。

「退任あいさつ」

知多市更生保護女性会 前会長 伊藤 美恵子



会員の皆様には、いつも更生保護活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

総会で皆様とお会いするのを楽しみにしておりましたが、不注意で体調を崩してしまい、皆様のお顔を見ることができず、寂しかったです。会長として最後の総会でしたのに、不甲斐ない思いでいっぱいです。

18年前、竹内元会長から指名され、若気の至りで会長を引き受けました。更生保護女性会として、保護司会と協力しての研修旅行、社会を明るくする運動、更生保護女性連盟などの研修会、子育て支援、地域でのあいさつ運動や安全確認パトロールなどの活動をしてまいりました。ここ何年かは、コロナ禍で中止になっていた行事もありますが、時代に合った形で復活させて、今後の更生保護女性会の活動に期待し、見守っていききたいと思います。

これまでの皆様のご協力に感謝いたします。



「会長就任のあいさつ」

知多市更生保護女性会 会長 山本 時子



この度、伊藤美恵子会長の後任として会長の大任をおおせつかりました東部地区の山本時子です。よろしくお願いします。

また長期にわたり、更生保護女性会発展のためにご尽力いただいた伊藤会長の労をねぎらうと共に、感謝申し上げます。

さて、今年度総会は、前会長不在の中資料作りから開催まで理事役員一丸となり無事終えることができました。「ほっとした気持ち」と「みなさんの団結力」を感じ、嬉しい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。

これから更生保護の心を広める集いとして、「やれること」からみんなで「考え」「行動し」「楽しく」活動できる更生保護女性会めざし頑張っていく決意です。

昨今、会員の高齢化に伴い会員の減少も大きな課題です。新会員の推進や活動の在り方等時代に沿ったやり方の検討も必要かと考えています。

会員の皆様には、これまで同様ご理解とご協力をお願いし、あいさつとさせていただきます。

令和5年度 被顕彰者

* 法務大臣感謝状 *

伊藤 つな子

令和5年6月30日、第60回日本更生保護女性の集いが東京都のアルカディア市ヶ谷私学会館であり、表彰式が行われました。新型コロナの感染症を見て少人数・短時間でありました。それでも日本中の人が集まりました。

伊藤会長を始め多くの皆様に長い間助けてもらい、色々教えてもらってありがとうございました。

電話が携帯になり、スマホになり、LINEもでき、なんでも指一本でできるようになった今日この頃。世の中がどんどん変わって、ついていけない私ですが、人を思いやる温かい心を忘れないようにしていきたいと思っています。

☆下記の方々も、令和5年11月愛知県更生保護大会で表彰されました☆

* 名古屋保護観察所長感謝状 *

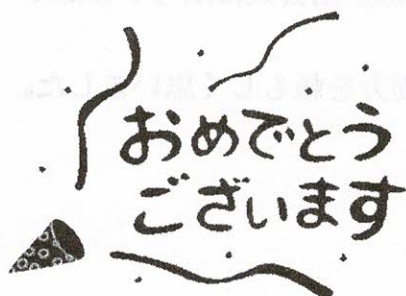
鈴木 千賀子

* 愛知県更生保護女性連盟会長感謝状 *

竹内 奈美江

濱嶋 妃都美

(敬称略)



第24回“愛知県更生保護女性の集い”に参加して

太田 仁美

9月27日の午後、名古屋市公会堂大ホールにて開催されました。お隣り町の東浦町や刈谷市の活動発表がありました。

東浦町は、やれる事を、やれる時に、やれるだけ—をモットーに活動しておられること、地元の企業さんにもお声かけして、協力していただいていることもお聞きしました。

刈谷市は「オコジョ勉強会」を開いて、新入会員の研修の場としていること。その中で渉外部と研修部を設けて、活動別に受け持ち、作業を通して、会員相互の理解を深めつつ、交流しておられるようです。その中で『おせっかいおばさん』たる会員！』とのコトバ。今の世の中は、コロナ禍もあり、人と人とのつながりが薄く、まるで、おせっかいが良くないことのように聞こえてしまいますが、おせっかいをモットーに、これからも社会を明るくする方向に協力していきたいと思いました。

第24回 愛知県更生保護女性の集い



発表の後、名古屋市保護観察所長 横地 環様の講評があり、日本全国でそれぞれ活動されている様子も知りました。

その後、愛知県警察本部の方の講演があったり、県警音楽隊の演奏、カラーガード隊のフレッシュな演技も見せていただき、充実した集いの一日でした。



愛知県更生保護女性連盟尾東地区正副会長会議

石井 和子

令和5年10月10日長久手市福祉の家にて開催された尾東地区正副会長会議に伊藤会長のお伴として参加しました。やっとたどり着いた会場は「家」という名前から想像していたものとは全く違い、温泉施設を併設したとても大きく立派な建物でした。

前半は「少年院の今～豊ケ岡学園の現状を中心として～」と題した講演会。豊ケ岡学園は豊明市にあり、昭和12年に少年保護団体「豊ケ岡可塑園」として設立されました。昭和24年から少年たちを短期収容する国の施設となり、昭和52年短期処遇を行う少年院となったそうです。しかし、収容者数の減少や施設の老朽化を理由に令和7年3月末で廃園され、その機能は瀬戸少年院に集約されるということです。近隣の更女会の方々は「これまで交流があったのに残念です」と話され、まさに更生保護活動を実践されていたのですね。

豊ケ岡学園



後半は尾東地区正副会長会議の在り方についての意見交換でした。尾東地区は春日井市から南知多町までの長い地区なので、正副会長会議は全体で一回、南部・北部それぞれで一回と、一年に2回行われると知りました。担当の市町の負担について近隣で協力しましょうとか、趣向を凝らした講演会などもあるので、南部の会議は正副会長に限らず参加しても良いのでは？などと楽しい話も出ました。

会議後5市の会長で早速グループLINEができました。その行動力を頼もしく思いました。

令和5年度知多5市更生保護女性会交流会に参加して

竹内 奈美江

令和5年10月25日、大府市役所で開催され、会長始め3名で参加させていただきました。
話し合いのテーマは、年会費とその使い道、研修会や講演会等の開催有無、新会員の勧誘方法等でした。

その中で、コロナ禍による活動自粛中に生じた変化が大きく影響していることが再認識されました。例えば更生女会や活動を受け入れてくださる相手方の役員交代、また受け入れ体制の考え方や体制の変化など。交流会参加者からは事業の活動紹介にまつわる工夫や働きかけ方を具体的に知りたい、自分達の活動に役立てたいという熱心な発言もあり、予定時間が足りないくらいでした。

「記憶2」上映会・記念シンポジウムに参加して

山本 時子

令和5年12月23日東別院ホールで開催され、参加させて頂きました。

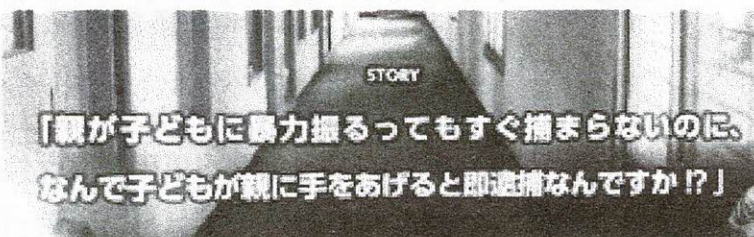
最初に基調講演 ①「少年少女への支援～今、彼らに何が起きているのか～」 特定非営利活動法人心和 理事長 浅井夕佳里 様 ②「児童相談所の現状」 名古屋市中央児童相談所 主査 牧野恵之 様

次に、現場からの報告。現場からの報告では、「話をきいてあげる」そういうことをつみあげていくことが大切である、とお話がありました。

午後から「記憶2」上映会とトークショーがありました。

このシンポジウムに参加し感じたことは、生まれ育った環境や、親子関係、親から受ける愛情、人との出会いなど、人が成長する過程でとても大切なことであると痛感しました。犯罪を犯した少年少女の多くが「居場所がない」「認めてもらえない」との思いから、悪の道に入ってしまう。出会った人がいい人であれば、いい方向に向かうと思うと言われていました。昨今、「家庭教育力不足」と言われています。だからこそ、地域での見守り、つながりが大切になるのではないのでしょうか。

ちょっとした心づかい！気をつける人があればいいと思うと言われてましたので、これからそれぞれが出来る活動を頑張りたいと思いました。



新年研修会

伊藤 澄子

令和6年1月24日午後2時より今年度の新年研修会は雪予報の中開催されました。

知多警察署生活安全課課長 藤田様による講演は、特殊詐欺についての心構えや注意する事、詐欺防止につながる電話機の購入の補助金制度についてなど、多くの学びがありました。自分は大丈夫!!と思う油断がおおきな事件につながる事を忘れず、みんなで声を掛け合い楽しい日々を送りましょう。

令和6年度 総会

久保 淳子

今年の春はあっという間に通り過ぎ、お花たちも急いで咲いているような4月26日に、勤労文化会館研修室で総会を行いました。

副市長、市議会議長、警察署長をはじめ8名の来賓にご臨席をいただき、開催することができました。

伊藤会長が体調不良で欠席のため、準備の段階からあたふたしつつも、新会長山本さんと、旧役員・新役員で力を合わせ、無事に終えることができ、うれしいかぎりです。



会員数は少なくなりましたが、小回りの利くフットワークの軽い活動もできるのではないのでしょうか。

山本新会長の初めての総会が滞ることなく終わり、会員の皆様と一緒に新しいページを開くことができました。

令和6年度 社会を明るくする運動 ミニ集会開催予定

東部地区	7月11日	東部まちづくりセンター
中部地区	7月12日	福祉活動センター
南部地区	7月19日	こども未来館



編集後記

今年度も皆様に更女だよりお届けすることができました

知多市更生保護女性会は

会長が代わり 役員も代わり 新しい風に期待

広報部も

発行責任者が代わり

編集委員は…ちょっと代わり… 紙面は…

原稿をお寄せいただいた方々ありがとうございました

発行責任者： 山本時子

編集委員： 伊藤澄子 太田仁美 伊藤つな子 石井和子